

専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	保健・医療・福祉部会
開催日時	令和8年2月2日 19時50分 ～ 21時00分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎3階会議室
出席委員	出席者：上西委員、成田委員、松前委員、酒井委員、松本和俊委員、結城委員、坂上委員 欠席者：梅野委員、三間委員、望月委員
事務局出席者	馬場健康福祉部長、佐々木病院事務部長、倉澤こども・高齢者支援室長、後藤健康福祉部次長（社会福祉事業団）、桶谷病院事務部次長、田上社会福祉課長、朝岡病院事務部総務課長、斉藤総合政策課主査
審議事項	<p>1 開 会（田上社会福祉課長）</p> <p>2 主幹部長挨拶（馬場健康福祉部長） 専門部会については、より具体的な基本計画を検討する場になっている。本日は2次計画の進捗状況について、振り返りながらご説明するとともに、本日いただいたご意見は、基本計画のたたき台を作る際の検討材料とさせていただきます。皆様には引き続きご協力をお願いしたい。</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 部会長・副部会長の選出について ⇒選出方法について、委員からご意見等ないため、事務局から腹案を提案 部会長に上西 靖子委員 副部会長に成田 勇一 委員、松前 聡美 委員 ⇒異議なし。それぞれ決定。 ⇒委員・事務局より自己紹介</p> <p>(2) 第2次総合計画の進捗について ⇒資料「名寄市総合計画（第2次）の進捗状況について」を基に、本部会の所管部署の内容について、事務局から説明。 説明後委員から質問意見等を受けた。 ※所管部署の事業は別添「名寄市総合計画（第2次）施策の体系」に記載のとおり</p> <p>4 そ の 他（田上社会福祉課長） 今後の日程については3月に入ったら何度かお集まりいただくことになる。その際は再度調整をさせていただきます。</p> <p>5 閉 会（田上社会福祉課長）</p>

<p>発言内容</p>	<p>○健康福祉部の内容に関する意見等（基本目標Ⅱ－１・３～６まで）</p> <p>■委員 がん検診の受診率について、上がっていない理由はなにか？</p> <p>◎事務局 行政が実施しているがん検診についてはあまり上がっていないように思われるが、会社での実施については含まれていないため、市全体としてはもう少し多いと思う。</p> <p>これまでは、電話での予約としており、開庁時間のみ受付を行っていたが、インターネットの申し込みを令和7年度から開始し、土日の検診も実施してきており、上昇傾向にはある。</p> <p>■委員 土日でも受診できることはどのように周知しているか？</p> <p>◎事務局 広報などで周知しているが、インターネットでも空き状況が確認できる。</p> <p>■委員 ポスターなどは配布しているか？</p> <p>◎事務局 ポスターでの周知は行っていない。空き状況については随時更新されるものであるためポスターで周知するのは難しいかもしれない。</p> <p>■委員 2次元コードでの申し込みができるが、年配の人は操作が難しい。</p> <p>◎事務局 月に数回こほっとでは、スマホ教室も開催しているため、操作が難しいようであれば参加してみしてほしい。</p> <p>■委員 開業医誘致事業がA評価となっているが、一次医療機関が少なくなってきたと思う。整形外科が廃業するとの話も耳にするが、診療できる病院がなくなってしまうのではないかと心配している。</p> <p>◎事務局 開業医誘致事業は今後も実施する予定か？</p> <p>当初は内科の開業医が廃業したため、内科の確保を目的として実施してきたが、一定程度内科は確保ができたことから、現在診療科は限定しておらず申し出があれば受け付け、市長が諮問する機関で審議することとしている。市場調査をしていく中で、市内にいくつもある診療科の申請があったとしても公費を出して応援することが良いのかどうか議論する必要があると思う。</p> <p>■委員 受診する側としては、複数の選択肢の中から選択できる方がありがたい。</p> <p>■委員 市の保育士は充足しているか？</p> <p>◎事務局 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が開始され、0歳6か月～3歳を対象にすることとなっていることから、ベテラン保育士を配置しなければならず、充足しているとはいえない。</p> <p>これまでは、期間を決めて採用を行っていたが、社会人枠での募集も開始し、募集期間も随時募集としている。</p> <p>■委員 生活困窮者の支援について、「生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業を開始し」とあるが、集まりが悪くて開催できていないようなことを聞いたが改善したか？</p> <p>◎事務局 コロナ禍の影響により令和2年度から中止としており、それ以前でも平成29年で4人、平成30年で3人、令和元年で4人と参加者が少ない状況であるため、現在も開催を見送っている。</p> <p>大学でも一部学習支援や子ども食堂など独自で実施していただいている部分もあるため、ありがたく思っている。</p> <p>■委員 実施することは難しいこととは思いますが、必要な事業だとは思う。</p>
-------------	---

<p>発言内容</p>	<p>■委員 ごみ出し支援サービスがあるが、もっと利用したい人がいると思う。お知らせをもう少ししてほしい。</p>	
	<p>◎事務局 地域ケア会議において、ごみ出しがうまくできていない方が増加しているとの意見が出て市民部において、令和2年10月から実施してきている事業。ケアマネージャー等のケアプランの中で支援が計画された方に訪問した際にヘルパーが処理している。 令和6年度からは、ふれあい収集の事業を市民部で実施しており、ごみステーションまで行けない方の手伝いをしている。 現在は、28世帯が利用していると聞いている。</p>	
	<p>■委員 フレイル予防教室について、大学のコミュニティケア研究センターでフレイル予防教室を行っている。その数を加えると目標値（介護予防（フレイル予防）教室参加人数：980人（2026））を達成できると思うが、うまく協力することはできないか？</p>	
	<p>◎事務局 連携が必要とは考えている。</p>	
	<p>■委員 生活困窮者への学習支援もそうだが、大学でやっていることは未来永劫続けるということではない。先駆的な活動をし、そのノウハウを持って地域で担っていただくことが本来のあり方だと思うため、地域や行政で引き継いでほしい。</p>	
	<p>■委員 市民アンケートなどでも移動手段の要望があったが、市内循環バスが無くなり「のる一と」に代わっていていると思うが、障がい者ニーズに配慮されているか。市の見解はいかがか。</p>	
	<p>◎事務局 障がい者目線では大きな影響はないと考えている。 車椅子を利用されている方が利用される車であれば、市が委託して社会福祉協議会において移動支援を行っているほか、タクシー会社では車椅子の方が乗車しやすい車両を用意しているものと承知している。 コミュニティバス以外にも、ステップが下りるバスも走っており、困っているという意見は直接は聞いていない。</p>	
	<p>○市立病院の内容に関する意見等（基本目標Ⅱ－２）</p>	
	<p>■委員 市立病院の患者紹介率とはなにか？目標値である1/3を超えるとどうなるのか？</p>	
	<p>◎事務局 医療機関の数が減ってきており、紹介元が減ってきている。 地域医療構想の考え方につながってくる。一次医療のクリニックから二次医療である市立病院へ紹介してもらい、検査・入院・手術などの役割分担していくことがこの地域においていい形で医療を提供できる形になると考えている。 患者紹介率が上がるということは、その構想に近づいていっているひとつの指標になるのではないかと考えている。</p>	